

小型LDL減少、運動能向上

αシクロデキストリン

シクロケム

環状オリゴ糖であり、「パー食物繊維」と呼び、水溶性食物繊維でもある。

αシクロデキストリンは、顧客開拓を推進している。

(CD)。

同素材を原材料供給するシクロケム(神戸市中央区)では、多様な機能を備えるほか、他の食物繊維に比べて優れた機能も有することから「スー

で確認されている。

LDLコレステロールは、従来から悪玉コレステロールと呼ばれ、血管内に余剰なコレステロールが蓄積する原因とされてきた。しかし、近年の

研究でLDLコレステロールの中でも、小型LDL減少機能が特に動脈硬化を引

き起こす「超悪玉コレステロール」であると解明された。

一昨年には、小型LDL測定試験が国内で初めて製造販売承認を受け、昨年4月から販売されている。

これを受けシクロケムでは、小型LDLが心血管機能に最も影響を与えると認識されたと捉え、αCDに確認されている小型LDL減少機能をヘルスクレームに、機能性表示食品に届出を行っている。また、アスリートおり、近々受理される可能性が高いと想定している。

大腸ではαCDが持久運動パフォーマンス向上に寄与することを見出している。今年1月に慶應義塾大学、青山学院大学、筑波大学らが共同で発表した研究では、陸上部員の3000mの走行タイムが速いほど、腸内細菌のバクテロイデス菌の多いことが確認されて

このほか、米国のハーバード大学が行った研究では、アスリートは短鎖脂肪酸のプロピオン酸を利用し、優れた持久運動パフォーマンスを発揮することが示されている。ニエトリションとしてこれら持久運動パフォーマンス向上のメカ

ニズムは、シクロケムが行ったαCDを用いた独自の動物試験で、αCD摂取によるバクテロイデス菌の増加に伴うプロピオン酸の増加が確認された。

同社の寺尾啓二社長は「動物試験と大学の試験結果が結び付いた。今後はαCDをスポーツも提案強化していきたい」と話す。

国国立衛生研究所の研究

DLが特に動脈硬化を引

き起こす「超悪玉コレステ

表示食品に届出を行って

おり、近々受理される可

可能性が高いと想定してい